

# 貸 借 対 照 表

平成19年 3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	48,966	流動負債	58,474
(経営安定基金に属する資産を除く。)			
現金及び預金	36,321	1年内に返済する長期借入金	403
未収運賃	1,005	未払金	27,719
未収金	5,728	1年内に支払う鉄道施設購入長期未払金	272
未収収益	1,820	未払費用	796
有価証券	300	未払消費税等	40
土地	20	未払法人税等	213
貯蔵品	1,768	繰延税金負債	2
前払費用	493	繰延税金負債	73
その他の流動資産	231	前受運賃	2,214
貸倒引当金	1,278	前受運賃	2,739
	1	賞与引当金	15,786
		環境安全対策引当金	5,794
		建物等撤去引当金	251
		その他の流動負債	682
			1,485
固定資産	290,311	固定負債	117,159
(経営安定基金に属する資産を除く。)			
鉄道事業固定資産	199,674	長期借入金	31,587
関連事業固定資産	24,311	鉄道施設購入長期未払金	4,639
各事業関連固定資産	13,982	繰延税金負債	6,208
その他の固定資産	1	退職給付引当金	71,820
建設仮勘定	19,463	役員退職慰労引当金	619
投資その他の資産	32,878	環境安全対策引当金	796
関係会社株式	25,047	建物等撤去引当金	1,211
投資有価証券	4,739	その他の固定負債	275
長期前払費用	2,664		
その他の投資等	483	負債合計	175,634
貸倒引当金	56		
		(純資産の部)	
経営安定基金資産	696,462	株主資本	168,705
		資本剰余金	9,000
流動資産	99,559	資本準備金	153,451
現金及び預金	11,752	利益剰余金	153,451
短期貸付	85,703	その他利益剰余金	6,254
有価証券	2,104	特別償却準備金	6,254
投資その他の資産	596,902	特別償却準備金	12
投資有価証券	143,783	固定資産圧縮積立金	4,559
長期貸付	453,118	繰越利益剰余金	1,682
		経営安定基金	682,200
		経営安定基金評価差額	8,514
		評価・換算差額等	686
		その他有価証券評価差額	686
		純資産合計	860,106
資産合計	1,035,740	負債純資産合計	1,035,740

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 注 記 表

平成18年 4月 1日から  
平成19年 3月31日まで

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券

償却原価法

子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券（特定金銭信託等を構成する有価証券を含む。）

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、経営安定基金における有価証券の評価差額については、「経営安定基金に係る経理の整理に関する省令」（昭和62年運輸省令第21号）第2項により純資産の部に「経営安定基金評価差額金」の部を設けて処理しております。

#### (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金 個別法による原価法

分譲土地 個別法による原価法

貯蔵品 移動平均法による原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法（関連事業資産及び建物は定額法）を採用しております。ただし、「鉄道事業会計規則」（昭和62年運輸省令第7号）第13条による取替資産については、取替法を採用しております。

無形固定資産は定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### 3. 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### (2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額に基づき計上しております。

#### (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

過去勤務債務は、その発生時の事業年度に一括処理しております。

数理計算上の差異は、翌事業年度に一括処理しております。

#### (4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

#### (5) 環境安全対策引当金

保管するPCB廃棄物及びアスベストの処理費用の支出に備えるため、その金額を合理的に見積もることが出来る処理費用などについて計上しております。

#### (6) 建物等撤去引当金

建物等の撤去が決定し、その処理費用の支出に備えるため、撤去費用等の見込額を計上しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

工事進行基準の適用

長期大型（工期12か月以上かつ請負金額5億円以上）の工事に係る収益の計上については工事進行基準を適用し、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、当事業年度で工事進行基準による完成工事高はありません。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(2) 当社は鉄道業における立体交差事業の高架化工事や踏切道路拡幅工事等を行うに当たり、国等より工事費の一部として工事負担金等を受け入れております。これらの工事負担金等は工事完成時に取得した固定資産の取得原価から直接減額して計上しております。

なお、損益計算書においては工事負担金等受入額と、固定資産の取得原価から直接減額した固定資産圧縮損を相殺し、特別損益の部に「補助金等」として記載しております。

(3) 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。

(4) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額を経営安定基金は経営安定基金評価差額金として、それ以外は損益として処理しております。

(5) 連結納税制度の適用

当事業年度から連結納税制度を適用しております。

6. 計算書類は、「会社法」（平成17年法律第86号）第435条の定めにより、「鉄道事業会計規則」及び「経営安定基金に係る経理の整理に関する省令」に基づいて作成しております。

(会計方針の変更)

貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準

当事業年度から貸借対照表の表示について「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。

なお、従来の資本の部の合計に相当する金額は860,106百万円であります。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 344,573百万円
2. 固定資産の科目ごとの総額
- |        |         |            |        |           |
|--------|---------|------------|--------|-----------|
| 有形固定資産 | 土地      | 35,875百万円  | 機械及び装置 | 7,957百万円  |
|        | 建物      | 43,981百万円  | 工具器具備品 | 2,169百万円  |
|        | 構築物     | 109,649百万円 | 建設仮勘定  | 19,457百万円 |
|        | 車両      | 37,474百万円  |        |           |
| 無形固定資産 | ソフトウェア等 | 867百万円     |        |           |
3. 固定資産の取得原価から直接減額された、国庫補助金・工事負担金等累計額 203,436百万円
4. 保証債務等

(単位：百万円)

被保証者	保証債務残高	被保証債務の内容
札幌駅総合開発(株)	10,210	金融機関からの借入に対する連帯保証又は経営指導 念書差し入れ
北海道高速鉄道開発(株)	3,660	金融機関からの借入に対する経営指導 念書差し入れ
計	13,870	

5. 関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債権	1,362百万円	短期金銭債務	7,645百万円
長期金銭債権	28,200百万円	長期金銭債務	-百万円

## 6. 退職給付債務

退職給付債務	71,866百万円
数理計算上の差異	46百万円
期末残高	71,820百万円

7. 経営安定基金資産につき時価を付した場合の評価差額金は、純資産の部に経営安定基金評価差額金として整理しております。

### 税効果会計に関する注記

繰延税金負債の発生原因は、経営安定基金資産及びその他有価証券のうち市場性のあるものについて時価を付したことによるものであります。

### 関連当事者との取引に関する注記

#### 1. 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(消費税抜)(百万円)	科目	期末残高(百万円)
主要株主(会社等)	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄清算事業本部(注)1	被所有 直接 100%	経営安定基金の貸付及び設備投資に係る資金の借入等	経営安定基金の貸付受取利息(注)2	23,098	未収収益	56
				経営安定基金の貸付(注)2	79,874	基金短期貸付金 基金長期貸付金	85,703 425,118
				設備投資に係る借入金(注)3	-	長期借入金	29,213
				札沼線の大改良に係る未払金に対する支払利息(注)4	22	-	-
				札沼線の大改良に係る未払金(注)4	-	1年内に支払う鉄道施設購入長期未払金 鉄道施設購入長期未払金	272 4,639

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注)1. 当社は、「日本国有鉄道改革法」(昭和61年法律第87号)に基づいて設立されており、当社の主要株主である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構(以下「鉄道・運輸機構」という。)は、「独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法」(平成14年法律第180号)に基づいて設立されております。鉄道・運輸機構は、「日本鉄道建設公団」(平成15年10月1日をもって解散)の権利及び義務を承継しております。
2. 鉄道・運輸機構への貸付金は、経営安定基金の機能維持策によるものであり、利率は年4.99%及び3.73%であります。
3. 鉄道・運輸機構からの長期借入金は、「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律」(平成10年法律第136号)第13条第2項の規定に基づくものであります。
4. 鉄道・運輸機構への1年以内に支払う鉄道施設購入長期未払金及び鉄道施設購入長期未払金は、「札沼線の大改良及び譲渡・引渡の基本協定書」(平成5年8月24日締結)に基づくものであります。なお、当事業年度の支払額は278百万円であります。

## 2. 子会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（消費税抜）（百万円）	科目	期末残高（百万円）
子会社	株式会社 ジェイ・アール北海道	所有 直接 100%	リース資産 賃貸借・物品購入等 役員の兼任	経営安定基金の貸付 受取利息（注）1	915	未収収益	2
				経営安定基金の貸付 （注）1	-	長期貸付金	28,000
				CMSの貸付受取利息	1	未収収益	-
				CMSの貸付	10,741	貸付金	0
子会社	株式会社 ジェイ・アール北海道バス	所有 直接 100%	連絡運輸等 委託 役員の兼任	退職金負担額（注）2	667	（寄附金）	-
				出向負担金	1,879	未収金	140

### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- （注）1. 長期貸付金は、北洋銀行（200億円）及び札幌銀行（80億円）への貸付資金（劣後ローン）として金銭消費貸借契約を締結しており、この貸付資金の回収を担保するために債権譲渡担保契約を締結しております。
2. ジェイ・アール北海道バス株式会社への出向社員の出向期間中に増加した退職金負担額は、第239回取締役会（平成18年9月22日）において、同社に対する寄附金とすることを決議しております。

## 3. 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（消費税抜）（百万円）	科目	期末残高（百万円）
主要株主（会社等）が議決権の過半数を所有している会社等（当該会社等の子会社を含む。）	日本貨物鉄道株式会社（注）1	-	鉄道線路の賃貸等	信号場建設資金の借入（注）2	-	1年以内に返済する長期借入金	65
						長期借入金	65

### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- （注）1. 鉄道・運輸機構が議決権の100%を直接所有しております。
2. 信号場建設資金の借入は、日本貨物鉄道株式会社との間で、江差線上磯・茂辺地間信号場建設資金として「建設協力金に関する協定書」（平成元年3月22日締結）を締結したもので無利息であります。

### 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額 4,778,369円27銭
2. 一株当たり当期純利益 22,722円79銭